

【産業建設委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

		No.	1
第1編	まちづくり戦略		
第2章	安全で安心なまちづくり		
第1節	防災・減災対策の強化		

点検評価項目

1防災・減災機能の充実・強化

(1)東西市街地の浸水対策の推進

①国・京都府と連携した内水対策の実施

近年、豪雨や高潮などにより浸水被害が多発する東西市街地において、国・京都府と連携を図りながら、ハード・ソフト事業を実施し浸水対策を推進します。
西市街地については、高野川流域の堀上橋下流部の完成と上流部の計画策定を目指します。
東市街地については、雨水管理総合計画に基づき、浸水リスクの高い竜宮地区、市場・溝尻地区の内水排除ポンプなどの工事に着手します。

数値目標	—				
年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—
数値目標に係る特記事項					

点検評価項目施策の推進に係る説明

令和7年度取組・進捗状況

【雨水管理総合計画】
雨水管理総合計画の策定に向けた既存水路や排水管の測量調査及び浸水シミュレーションが完了

【高野川（府）】
護岸工（左岸）（新大橋～大橋）鋼管矢板 L=23.6m、
大橋取付道路 右岸L=8m、左岸L=8m、
護岸工（右岸）（新大橋～大橋）根継矢板切断（矢板根継）

取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

	優先すべき排水区を選定し、どのような対策を実施するか詳細な検討を行うなど雨水管理総合計画の策定を進める。 【府】護岸工事等の進捗が図られるよう、府と連携し地元調整に努める。
--	---

担当課	浸水対策課、国・府事業推進課、土木課
-----	--------------------

【産業建設委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	2
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第2章	安全で安心なまちづくり
第1節	防災・減災対策の強化

点検評価項目

1防災・減災機能の充実・強化

(3)治水対策の促進

②由良川輪中堤地区の内水対策事業の促進

由良川輪中堤地区における内水被害軽減対策の整備促進を図ります。

数値目標	—				
年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—
数値目標に係る特記事項					

点検評価項目施策の推進に係る説明

令和7年度取組・進捗状況

【志高地区 内水対策の検討】
・内水浸水対策検討業務委託で選定された内水浸水対策案をベースに、関係機関と対策について検討を実施

取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

【内水対策の検討】

昨年度に引き続き、検討した内水対策案のうち、優位性の高い案の詳細について、国や府とも連携を図りながら詳細を詰めていく。その上で、地元への理解を得ながら検討を進めていく。

担当課

国・府事業推進課、危機管理・防災課

【産業建設委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

		No.	3
第1編	まちづくり戦略		
第2章	安全で安心なまちづくり		
第1節	防災・減災対策の強化		

点検評価項目

1 防災・減災機能の充実・強化					
(3) 治水対策の促進					
③安全な河川の整備促進					
京都府管理河川について、治水上の安全と通水能力を確保するため、護岸整備や河道拡幅等の河川改修を促進します。(高野川、伊佐津川、志楽川、河辺川など)					
数値目標	—				
年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—
数値目標に係る特記事項					
点検評価項目施策の推進に係る説明					
令和7年度取組・進捗状況					
【高野川(府)】 護岸工(左岸)(新大橋～大橋) 鋼管矢板 L=23.6m、大橋取付道路 右岸L=8m、左岸L=8m、護岸工(右岸)(新大橋～大橋) 根継矢板切断(矢板根継)、河床浚渫(高野由里～引土地内) V=1,500m³、河床浚渫(野村寺～城屋地内) V=350m³、河床浚渫(城屋地内) V=410m³、河床浚渫(野村寺地内) V=480m³ 【伊佐津川】 河床浚渫(大和橋下、上流) V=2,500m³、河床浚渫(倉谷) V=4,100m³ 【河辺川】 護岸工(第一河辺川橋下流部) L=35.5m 【与保呂川】 河床浚渫(与保呂地内) V=800m³ 【久田美川他7河川】 河床浚渫 V=5,172m³					
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					

	護岸工事、浚渫工事等の進捗が図られるよう、府と連携し地元調整に努める。
--	-------------------------------------

担当課	国・府事業推進課
-----	----------

【産業建設委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

		No.	4
第1編	まちづくり戦略		
第3章	魅力あるまちづくり		
第2節	地域産業が元気で、いきいきと働けるまち		

点検評価項目

2 元気な事業者の育成による商工業の振興					
(1) (仮称) 産業振興センターを核とした地域経済の成長に向けた企業支援					
②新しい時代を牽引するビジネスモデルの支援					
社会情勢の変化に対応し、地域が抱える課題を解決するため、革新的なビジネスモデルに取り組む事業者を支援し、競争力の強化を図ります。 また、本市産業の持続的発展、地域産業の充実・強化を図るため、デジタル化やD X(※)の推進や設備等の高度化による中小企業の経営力の強化や生産性の向上を促進します。 ※D X…デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること。					
数値目標	—				
年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—
数値目標に係る特記事項	産業振興センターは未設立であるが、舞鶴市産業支援プラットフォームにて関係支援機関等と連携し、伴走体制を構築している。				
点検評価項目施策の推進に係る説明					
令和7年度取組・進捗状況					
舞鶴市産業支援プラットフォームを軸に関係機関が連携し、金融、事業承継、経営改善など市内中小企業が抱える課題に応じた多角的な伴走支援を実施した。 また、舞鶴市産業支援プラットフォームのLINE公式アカウントを活用した支援情報の一元発信を進めるとともに、各関係機関と連携した各種セミナーを開催した。 さらに、事業者の経営基盤強化や労働生産性向上を支援するビジネス成長応援プロジェクト事業を展開し、デジタルツールの導入や外部人材の活用に必要な経費を補助した。 【令和7年度実績】 ・関係機関連携による伴走支援：延べ406件 ・関係機関連携セミナー等開催：計14回 ・中小企業デジタルツール導入支援事業補助金：7件 ・副業・兼業人材活用支援事業補助金：2件 ・LINE公式アカウント登録者数：324人（令和8年3月末時点）					
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					

今後は関係機関との情報共有の質をさらに高め、単なる情報伝達にとどまらず、課題解決に向けて話し合う場を設ける。
この緊密な連携体制のもと、デジタル化や生産性向上など、各事業所の経営実態に即した機動的な個別伴走支援を強化していく。

担当課	商工・観光振興課（旧産業活力課）
-----	------------------

【産業建設委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	5
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第3章	魅力あるまちづくり
第2節	地域産業が元気で、いきいきと働けるまち

点検評価項目

2元気な事業者の育成による商工業の振興

(2)創業の促進

①創業・起業支援の充実、創業者の発掘

創業支援等事業計画に基づき、やる気のある起業家の輩出に向け、事業者の相談をワンストップ化するほか、創業支援事業者（商工会議所、地域金融機関等）との一体的な支援体制のもと、創業者向けの支援メニューの周知を強化するとともに、創業者の経済的負担の軽減を図ります。
また、高等教育機関等における研究開発成果を用いた起業や新規事業への挑戦を支援します。

数値目標	市制度活用による創業事業者数				
年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	—	—	15事業所	15事業所	15事業所
実績値		9事業所	9事業所	4事業所	—
数値目標に係る特記事項					

点検評価項目施策の推進に係る説明

令和7年度取組・進捗状況

舞鶴商工会議所と連携して特定創業支援等事業の創業スクールを開催したほか、新規創業の機運醸成に向け創業サロンを開催した。
また、舞鶴商工会議所において創業者の個別指導や支援メニューの周知、特定創業支援による証明書の交付を行った。
さらに、創業希望者の多様な学習ニーズに対応するため、eラーニング教材を活用した特定創業支援の補完体制を整備した。

【令和7年度実績】

・市制度活用による創業事業者数：4事業所

・創業サロン開催：全2回（参加者延べ9人）

・創業スクール開催：全5回（参加者各回4人）

取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

	物価高等の影響から新規創業へのハードルが高まる中、今後は関係支援機関と連携した特定創業支援のメリット周知や特例措置の活用促進を図る。 さらに、創業サロンやイベント等を通じて創業への関心を高め、起業やスタートアップに積極的に挑戦しやすい機運醸成を図ることで、新規創業の裾野を広げていく。
--	--

担当課	商工・観光振興課（旧産業創造・雇用促進課）
-----	-----------------------

【産業建設委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

		No.	6
第1編	まちづくり戦略		
第3章	魅力あるまちづくり		
第2節	地域産業が元気で、いきいきと働けるまち		

点検評価項目

2 元気な事業者の育成による商工業の振興					
(3) まちなかの賑わい創出					
①新規出店や創業等、新たにチャレンジできる環境づくりの推進					
新規出店者や創業者のチャレンジの場として、商店街等の空き店舗を利活用し、やる気のある市内外事業者のまちなかへの出店を支援するとともに、買い物を楽しめる魅力的な個店づくりや少子高齢社会に対応した地域密着型サービスの展開など、経済循環の拡大に資する意欲的な取組を支援します。					
数値目標	来街目的の創出による新たな来街者数				
年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	—	—	21,260人	25,500人	26,000人
実績値		25,000人	25,000人	31,497人	—
数値目標に係る特記事項					
点検評価項目施策の推進に係る説明					
令和7年度取組・進捗状況					
まちなかエリア（居住誘導区域等）への新規出店経費を補助するまちなかエリア活性化補助金により、出店を支援した。 また、まちなかでのにぎわい創出や回遊性向上を図るまちなかイノベーション推進事業費補助金を交付し、商店街団体等が連携して実施する各種イベントの実施を支援した。 さらに、買い物魅力ある商店街づくり推進事業費補助金を通じ、商店街の環境整備を支援した。 あわせて、商店街等の空き店舗解消に向けて、情報提供を行う空き店舗データベースへの登録依頼を進めた。 【令和7年度実績】 ・来街目的の創出による新たな来街者数：31,497人 ・まちなかエリア活性化補助金交付：2件（小売業1件、飲食業1件） ・まちなかイノベーション推進事業費補助金交付：10件 ・魅力ある商店街づくり推進事業費補助金（府協調事業）：1件 ・空き店舗データベース登録依頼：33社					
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					

	イベント等の開催による新たな来街者数は順調に増加しており、まちなかの賑わい創出に向けた事業支援は今後も継続する。 一方で、同一イベントへの補助金が継続していることによる事業の固定化が課題である。
--	---

担当課	商工・観光振興課（旧産業創造・雇用促進課）
-----	-----------------------